

2018年9月27日

閑上地区まちづくり協議会 御中

特定非営利活動法人地星社
代表理事 布田 剛

復興コミュニティづくりに関する取材について（依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

弊団体ではこの度、宮城県内被災地における復興コミュニティ形成の現状と課題をまとめた「宮城県 被災地・地域づくり白書」という冊子を作成する予定です。この冊子の概要については、別紙をご覧ください。

冊子作成にあたり、ぜひ貴団体の活動について取材させていただきたく存じます。ご多用のところ大変恐れ入りますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

日時	2018年11月15日 時より1時間から1時間半程度
訪問者	布田（地星社）および取材協力者1名
取材内容	別紙参照
発表媒体	取材記事は、弊団体で作成する「宮城県 被災地・地域づくり白書」にA4サイズで4ページ掲載する予定です。また、弊団体のホームページにも別途掲載いたします。

以上

(事務局)

特定非営利活動法人地星社 担当：布田

住所：宮城県岩沼市中央4-8-77

電話：080-3337-6490

E-mail：office@chiseisha.org

別紙 「宮城県 被災地・地域づくり白書」 概要

○目的

被災 13 市町の復興コミュニティ形成支援において、特に各主体の連携促進と地域人材育成をテーマにした白書（A4 カラー、96 ページ程度、1000 部）を作り、支援関係者間での連携の促進と、地域人材育成の課題認識の共有につなげることを目的とします。

白書では、コミュニティ形成支援の事例と関連データを集め、今後への提言を掲載し、県内外の関係団体・機関に配布します。

○取材先

被災 13 市町においてコミュニティ形成支援をしている団体・機関もしくは住民自治組織を自治体ごとに 1 事例を目安に取材します。

○主な取材内容

- ・活動の概要について
- ・震災以後の活動年表
- ・行政や他団体との連携の状況について
- ・人材育成（組織内もしくは地域内）について
- ・これまでの成果やこれからの課題について
（特に復興コミュニティ形成にかかわること）

○特定非営利活動法人地星社について

岩沼市に事務所を置き、NPO や市民活動団体を対象とした個別支援、調査・情報提供を中心に活動している団体です。

- * 本調査事業は、平成 30 年度宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業の補助を受けて実施します。